

**2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会
参 加 報 告 書**

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

| | | | | | | |
|---------|---|-------------|----|--------------------|-------|--|
| ●大会名 | 2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会 | | | | | |
| ●日程 | 令和5年1月4日 (水) | | ～ | 令和5年1月8日 (日) | | |
| ●会場 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ | | | | | |
| ●講師 | なし | | | | | |
| ●スケジュール | 令和5年1月4日 (水) 各自割り当て時間に合わせて集合 16:00 更衣の後PGC 16:30 W-up 16:55 コートin・コートインスペクション 17:10 ゲーム開始 | | | | | |
| ●担当試合 | 令和5年1月4日 (水) 17:10 ～ | | | | | |
| 対戦カード | NLG INFINITY(群馬) | | VS | Jamaney Youth (石川) | | |
| 主審 | 主審 | 新井 文明 氏(東京) | U1 | 目崎 一将 氏(東京) | U2 河崎 | |
| 講師／主任 | なし | | | | | |
| 講評 | ・トスアップ後のアウトオブバウンズについては、黒が最後触っているように見えるので、ヘルドボールとせず白ボールの決断をした方が良かった。 ・1Qに判定した速攻の時のTLサイドセンターライン付近のファウルについては、Tは確かに遠かったがLがアングルをとりながら走っていたので、Cが判定を無理に入れる必要はなかった。 | | | | | |
| 自己の感想 | 前述にもあるトスアップ後のアウトオブバウンズの微妙なケースについては、現場ではヘルドボールにしましたが、ベンチ・観客から見てどうだったのかを考え、決断をする必要がありました。また、トスアップやり直しの際の処置ミスをしていることが後にわかりました。もう一度競技規則をしっかりと読み直し理解を深める必要があると思います。1Qのセンターからのケースについても、そのファウルによって白7が2つ目のファウルとなり、ベンチに下がらざるをえなくなりました。トランジション中でレフリーもプレーヤーも進行している中ですが、アングルをリードがとれていることを冷静に分析し、オビアスな現象であれば遅れてでも笛を入れるくらいの心の余裕をもちながら判定していこうと思います。ゲーム全体を通しては、自分のプライマリアリア内で起こる明らかなケースについては、概ね判定できたと思います。 | | | | | |

2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

| | | | | | | | | |
|---------|--|---|------------|----|---------------|----|-----------|--|
| ●大会名 | 2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会 | | | | | | | |
| ●日程 | 令和5年1月4日 (水) ~ 令和5年1月8日 (日) | | | | | | | |
| ●会場 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ | | | | | | | |
| ●講師 | なし | | | | | | | |
| ●スケジュール | 令和5年1月5日 (木) | | | | | | | |
| | 各自割り当て時間に合わせて集合 11:20 更衣の後PGC 11:50 W-up 12:15 コートin・コートインスペクション 12:30 ゲーム開始 | | | | | | | |
| ●担当試合 | 令和5年1月5日 (木) 12:30 ~ | | | | | | | |
| | 対戦カード | 七尾DACHS(石川) | | VS | 唐津市立第一中学校(佐賀) | | | |
| | 主審 | 主審 | 根反 祥恵氏(茨城) | U1 | 河崎 | U2 | 宮内 遥氏(愛知) | |
| | 講師/主任 | なし | | | | | | |
| | 講評 | CCの根反氏からコメントをいただきました。 ・クルー全体で、PGCで確認したキープレイヤーを中心に、最後まで丁寧に判定することができていた。 ・影響が出やすい女子のゲームにアジャストして丁寧に判定をしていたが、その中でファウルの判定として必要のないものもあったのではないかと。 ・それぞれのプライマリーエリアで起こった明らかなファウルやバイオレーションにはしっかりと笛が入っていた。 ・3Qで発生したファウルの判定が割れたケースも、クルーですぐにすり合わせ、判定の順番を決めてスムーズに再開できていた。 | | | | | | |
| | 自己の感想 | PGCでは、根反氏から事前に送っていただいたPGC資料を使用し、メカニクス、プレイコーリング、チームスタッツの共有を行いました。 力の差が出たゲームでしたが、負ければ3年生は最後の試合になるので、丁寧に一つ一つの判定を心がけることができたように思います。その中で、根反氏が仰るように、ファウルの絵がはっきりと出来上がっているのか、そのゲームの中で必要なファウルコールだったのかを映像で再検証する必要があります。また、時計が流れたケースも、現場では正確に訂正したつもりでしたが、映像を見ると10秒近く流れていました。アクティブ・ノンアクティブレフリーのいずれであっても、ボールデッドになった瞬間に時計を見る習慣をつけなければならないと感じました。 | | | | | | |

2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

| | | | | | | |
|---------|---|--------------|----|----------------|----|----|
| ●大会名 | 2022年度第3回全国U15バスケットボール選手権大会 | | | | | |
| ●日程 | 令和5年1月4日 (水) | | ～ | 令和5年1月8日 (日) | | |
| ●会場 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ | | | | | |
| ●講師 | なし | | | | | |
| ●スケジュール | 令和5年1月6日 (金) 開講式なし 各自割り当て時間に合わせて集合 12:30 更衣の後PGC 13:10 W-up 13:45 コートin・コートインスペクション 14:00 ゲーム開始 | | | | | |
| ●担当試合 | 令和5年1月6日 (金) 14:00 ～ | | | | | |
| 対戦カード | TOHOKU UNITED BALLERZ (岩手) | | VS | 京都精華学園中学校 (京都) | | |
| 主審 | 主審 | 御手洗 亮 氏 (大分) | U1 | 豊島 浩章 氏 (東京) | U2 | 河崎 |
| 講師／主任 | なし | | | | | |
| 講評 | CCの御手洗氏からコメントをいただきました。 ・PGCで打ち合わせたベーシックなメカ、プレイコーリングを徹底した結果、お互いのキープレイヤーを中心としたバスケットをできる限り引き出すことができたのではないかと。 ・それぞれのプライマリーから明らかなファウル、バイオレーションは笛が入っており、その中にGood no callもあった。プレイヤーやベンチにもレフリー側の「ラフではなく、タフなバスケットをさせたい」という意図は伝わったように思う。 ・タイマー管理もマジックタイムを使って訂正する場面があるなど、3人で時計の意識を高く持つことができた。 | | | | | |
| 自己の感想 | 全国派遣最終日でしたが、ゲームも全国大会にふさわしい非常に見応えのあるゲームでした。その中でレフリーとしていかに「ラフではなく、タフなゲームをさせるか」を課題に取り組みました。事前に御手洗様から頂いたPGC資料で確認したベーシックなメカを徹底し、それぞれのレフリーのプライマリーエリアから判定が入っていたように思います。私自身は、マジックタイムを常に持ちながら時計を訂正することができ、自分のプライマリーエリアからの判定ができたように思いますが、その中で細かいポジションアシストをおこない、さらに良い場所、距離、角度からの判定の精度を上げていきたいと思っております。この3日間多くの上級レフリー、またFIBALレフリーの方々のレフリングを見ることができ、またその方々のお話を聞くことができ本当に勉強になりました。今回派遣して下さった大阪府バスケットボール協会の皆様、またこのコロナ禍の中会場準備や運営にご尽力いただいた東京都バスケットボール協会の皆様、本当にありがとうございました。 | | | | | |